

# 宣伝・情報委員会報告

報告者 齋藤

## 1. 「宇治茶ふれあい教室」の開催及び予定

令和4年度のふれあい教室の実施状況と今後の予定について下記にてご報告致します。また今後のプログラムについては、宣伝委員会で検討を行なう予定をしておりますが、当面は昨年度の内容で実施を行なっております。

### プログラム

- ① 淹れ方教室 ② お茶についての講義

ふれあい教室 開催校

(令和4年9月・10月)

	開催日	学校名	参加人数	インストラクター	事務局
1	9月14日(水)	伊勢田小学校	67名	4名	1名
2	10月5日(月)	府立桃山小学校	70名	4名	1名



9月14日伊勢田小学校

10月5日桃山小学校

お茶についての質問コーナーでは、活発な感想や質問が多く聞かれた。

### 開催予定

	開催予定日	学校名	参加人数：備考
1	10月25日(火)	榎島小学校	3クラス82名
2	10月28日(金)	培良中学校	3クラス86名
3	11月4日(金)	西乙訓高校	2クラス75名
4	11月9日(水)	岡屋小学校	2クラス61名
5	12月上旬	菟道小学校	10月下旬打合せ

行動制限が解除された事によりふれあい教室の開催依頼が多くなっております。

## 2. 令和4年度『宇治茶大好き』・『みんなでお茶にしようね』の配布について

冊子、配布先一覧

(令和4年2月1日～令和4年9月30日)

	件数	大好き(日本語)	大好き(英語)	大好き(中国語)	みんなでお茶に	合計
保育・幼稚園	29	1,496	7	5	1,892	3,400
小学校	91	6,071	46	11	2,904	9,032
中学校	6	470	100	10	20	600
高校・大学	3	410	30	30	30	500
その他	21	2,937	487	1,052	202	4,678
合計	150	11,384	670	1,108	5,048	18,210

## 3. 宇治茶の宣伝行事(宇治茶レディの活動)について(太字は予定)

	日付	イベント名	開催場所	人数
1	4月22日	<b>KBS 京都テレビ</b>	茶業センター	1人
2	5月2日	八十八夜茶摘みの集い	茶業センター茶園	5人
3	5月8日	宇治市市民茶摘み	茶業センター茶園	2人
4	5月19日	カレンダー撮影	朝日焼、茶業センター	3人
5	5月20日	カレンダー撮影	茶づな、茶業センター	2人
6	7月12日	京阪京橋駅宇治茶PR	京阪電車京橋駅	3人
7	7月16-17日	イオン久御山 夏の茶会	イオン久御山	5人
8	9月11日	こみねっと演劇公演	文化パルク城陽	1人
9	11月12日	<b>新感覚ジョブ博 ※1</b>	京都経済センター	2人
10	11月19日-20日	全国お茶まつり京都大会	茶づな	5人

※1 別紙資料

## 4. 2023年度宇治茶カレンダーの申込について

宇治茶カレンダー申込状況

9月末現在

	分類	今年度		昨年度最終		達成率%	
		件数	部数	件数	部数	件数	部数
組合員	店名入り	25	5740	33	6,700	75.8	85.7
	無地	7	151	13	352	53.8	42.9
	組合名入り	2	140	3	165	66.7	84.8
員外	店名入り	45	6,775	74	10,862	60.8	62.4
	無地	8	205	20	383	40.0	53.5
	組合名入り	1	40	3	70	33.3	57.1
合計		88	13,051	146	18,532	60.3	70.4

## 5. 石臼の目立て事業について

石臼の目立て事業を開始するにあたり、御指導を頂いております阪本氏と事前にお話をさせて頂き、下臼のナット化と芯木のボルト化については組合が行ない、臼の目立て作業については阪本氏が行なうことで作業の分担について打ち合わせをおこなっておりました。

9月13日に阪本氏から体力的な問題を理由に、目立て作業についても組合で行ってほしいとのお話があり、石臼の目立て作業についても、組合で全て行なう事となりました。

作業料金については委員会で検討を行ない下記の料金設定をさせて頂きました。

### ナットボルト化作業を含む料金

作業項目	作業料金	備考
下臼のナット化作業	10,000円	1年間の限定（以後改定）
芯木のボルト化作業	5,000円	
臼の目立て作業	25,000円	目立てのみ芯木代は含まない
合計	40,000円	

### ナット化済の目立て作業料金

作業項目	作業料金	備考
ボルト化芯木の交換作業	5,000円	芯木の持ち込み加工も同額
臼の目立て作業	25,000円	
合計	30,000円	

尚、今後の阪本氏からの御指導に関しましては、組合で全ての作業を完了後に試し挽きを行ない、サンプルを京都府茶業研究所で粒度分布測定を行った後、阪本氏にサンプルの検品をして頂く事で、北村副理事長にご尽力を頂き阪本氏からのご了承を頂きました。

粒度分布計の使用許可につきましても茶業研究所の神田所長のご了承を頂き、馬場研究員がサポートをして頂けることとなりました。